

第9回オープンフォーラムY 報告書

集まろう、聴こう、そして伝えよう!

第9回 **オープンフォーラムY**

スローガン「みつかるとつながる。よくなっていく。」

「オープンフォーラムY」は国内外の諸課題に対し、関心を持っている方、自分なりのアクションプランを持っている方、国内・国際協力、人道支援、NGO、NPO、社会起業等で活動したい方、さらに学びたい方など様々なニーズを持っているユースが集まり、互いに傾聴し、伝え合い、それを共有し、繋がる仲間をつくり、方法を具体的に考えるフォーラムです。今回は社会的課題への対応を自ら検討・企画し具体的なアクションを起こし活動してきた NPO 法人メタノアの基訓報告とYMCA・ワイズパートナーシップで起こされた「Y'sxSDGs Youth Action」のチームからの報告を主に、より多くの方々に傾聴していただき、それを共有し、繋げ、広散と参加を促します。

日時 **2023年5月20日(土)**
10:00 ~ 17:00

場所 **日本YMCA同盟会館(四谷)**

開催方法: **リアル+Zoom オンライン**
対象: 一般大学生、ワイズメン関係者、都市YMCAユース、学生YMCAユース、YMCAユーススタッフ、YMCA関係者
参加費: **無料**

お申し込み頂いた方に折り返し
Zoom アドレス・パスワードをご案内いたします。

問い合わせ・申し込み先 一般社団法人 ワイズメンズクラブ国際協会
東日本区ユース事業主任 衣笠輝夫

Eメール tkinubus@gmail.com

主催者: 一般社団法人 ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区ユース事業委員会

▲ワイズメンズクラブの紹介はこちら



1. 日時: 2023年5月20日(土) 10:00~17:00
2. 場所: キーステーション: 日本YMCA同盟会館(ジョン・モット室)
3. 方法: ハイブリッド方式) リアル+Zoom オンライン

4. はじめに

「第9回オープンフォーラムY」がコロナ禍で2019年度に中止されて以降、4年ぶりのハイブリッド方式による再開となりました

スローガン「みつかる。つながる。よくなっていく。」のもと、「集まろう、聴こう、そして伝えよう！」を実現するフォーラムになりました。

「オープンフォーラムY」は国内外の諸課題に対し、関心を持っている方、自分なりのアクションプランを持っている方、国内・国際協力、人道支援、NGO、NPO、社会起業等で活動したい方、さらに学びたい方など様々なニーズを持っているユースが集まり、互いに傾聴し、伝え合い、それを共有し、繋がる仲間をつくり、方法を具体的に考えるフォーラムです。

今回は社会的課題への対応を自ら検討・企画し具体的なアクションを起こし活動してきたNPO法人メタノイアの基調報告とYMCA・ワイズパートナーシップで起こされた「Y's×SDGs Youth Action」のチームからの報告を主に、より多くの方々に傾聴していただき、それを共有し、繋げ、拡散と参加を促しました。

2023年1月から4月まで計4回、ユース事業委員会で「Y's×SDGs Youth Action」の各チームの報告を聴いて準備を進め、その集大成としての「第9回オープンフォーラムY」になりました。

社会的課題への対応を具体的なアクションを起こし活動してきた各報告ですので、極めてインパクトのあるフォーラムになりました。

次回も、さらにリアル・オンライン参加者を増やしての開催を目指します。

2022-2023年度ユース事業主任
衣笠輝夫

5. 報告者

- (1) NPO法人メタノイア代表理事 山田拓路さん
外国にルーツをもつ子どもの権利・認知拡大 (世界につながる子どもと社会)

- (2) 山梨 YMCA ユースリーダー会代表 菊池央人さん
環境(ゴミ)問題イベントの実施と啓発活動 (やまなしアクション 2022)

- (3) 中央大学 YMCA 国際ボランティアサークル「ひつじぐも」
大山希さん、森脇啓心さん、関口遼さん
環境問題(ゴミ)啓発活動

- (4) 熊本 YMCA リーダー会 下田大雅さん
子どもの居場所作り

- (5) とちぎ YMCA 高校生ボランティアグループつぼみ 動画のみ (川口夏菜子さん)
子どもの貧困: 子ども食堂運営・学習支援活動 動画のみ

そして、昼の休憩時間に NPO SalamatA の井上仁様から日本大学文理学部学生国際ボランティアの活動報告が動画でなされました。

6. 参加者

- (1)リアル参加者 (敬称略・順不同) 21名
- ・山田拓路 (NPO メタノイア)
 - ・菊池中央人 (山梨YMCA)
 - ・大山希 (中大学Y)
 - ・森脇啓心 (中大学Y)
 - ・関口遼 (中大学Y)
 - ・井上仁 (NPO SalamatA)
 - ・塩野谷 (NPO SalamatA)
 - ・江尻明子 (東京YMCA)
 - ・小松仲史 (ワイズメン)
 - ・山田公平 (ワイズメン)
 - ・深尾香子 (ワイズメン)
 - ・小原史奈子 (ワイズメン)
 - ・渡辺大輔 (ワイズメン)
 - ・相磯優子 (ワイズメン)
 - ・小林隆 (ワイズメン)
 - ・花輪宗命 (ワイズメン)
 - ・小口多津子 (ワイズメン)
 - ・城田教寛 (ワイズメン)
 - ・鈴木茂 (ワイズメン)
 - ・衣笠輝夫 (ワイズメン)
 - ・田口努 (日本YMCA同盟総主事)
- その他途中から立教学Yのユース2名が参加されました。
- (2)Zoom オンライン参加者 (敬称略・順不同) 20名
- ・下田大雅 (熊本YMCA)
 - ・伊藤眞太郎 (熊本YMCA)
 - ・渡辺結菜 (山梨YMCA)
 - ・ (熊本YMCA)
 - ・ (熊本YMCA)
 - ・ (熊本YMCA)
 - ・ (熊本YMCA)
 - ・大澤篤人 (日本YMCA同盟)
 - ・平野正文 (ワイズメン)
 - ・長谷川あや子 (ワイズメン)
 - ・久保田貞視 (ワイズメン)
 - ・山本英次 (ワイズメン)
 - ・宮崎善昭 (ワイズメン)
 - ・今井武彦 (ワイズメン)
 - ・並木真 (ワイズメン)
 - ・山下真 (ワイズメン)
 - ・伏木康 (ワイズメン)
 - ・進藤重光 (ワイズメン)
 - ・大澤和子 (ワイズメン)
 - ・崔民赫 (東大学Y)

7. プログラム

第9回オープンフォーラム Y(2023年5月20日 10:00~16:40) プログラム概要		
時刻	セッション	内容と報告者
オープニング		
10:00~10:05	オリエンテーション	ワイズメンズクラブ: 衣笠輝夫さん
10:05~10:10	挨拶	ワイズメンズクラブ: 山田公平さん
10:10~10:15	挨拶	日本YMCA同盟: 大澤篤人さん
10:15~10:45	基調報告	NPO法人メタノイア 山田拓路さん(リアル): 外国にルーツをもつ子どもの権利・認知拡大
10:45~11:00	質疑応答	
11:00~11:30	報告	山梨YMCAリーダー会 菊池央人さん(リアル): 環境(ゴミ)問題イベントの実施と啓発活動(やまなしアクション2022)
11:30~12:00	質疑応答	
12:00~12:55 昼休憩		
12:55~13:00 写真撮影		
13:00~13:30	報告	中央大学学Yひつじぐも 大山希さん(リアル): 環境問題(ゴミ)啓発活動
13:30~13:45	質疑応答	
13:45~14:15	報告	熊本YMCAリーダー会 下田大雅さん(Zoom): 子どもの居場所作り
14:15~14:30	質疑応答	
14:30~15:00	報告	とちぎYMCA高校生ボランティア「つぼみ」 川口夏菜子さん(動画のみ): 子どもの貧困: 子ども食堂運営・学習支援活動
15:00~15:10 休憩		
15:10~15:15	グループ分け説明	ワイズメンズクラブ: 相磯優子さん
15:15~16:10	グループ	グループ数、テーマ等: 参加人数による
16:10~16:20	グループ話し合いの共有	
16:20~16:40	まとめ・総括	ワイズメンズクラブ: 山田公平さん
16:40~16:50	閉会挨拶	ワイズメンズクラブ: 宮崎善昭さん

8. 振り返り

ユースの声に耳を傾ける

湘南・沖縄部
ユース事業主査 鈴木 茂

四谷・YMCA 同盟会館での YMCA やワイズの集いに参加することは、私には本当に久しぶりのことでありました。また、「オープンフォーラム Y」への参加は初めての経験でありましたので、ユース事業への取組に関する貴重な勉強の機会になりました。

昨年、「Y's×SDGs Youth Action 2022 報告」を Zoom で聞きましたが、今回も国連が提唱する貧困や不平等・格差の是正、環境保全、平和で公正な社会の実現などの SDGs 目標の実現を目指して、ユースの皆さんが自分たちの課題として、具体的に取り組んでいる姿を間近に拝見し、勇気を与えられました。

NPO 法人メタノイアの「外国にルーツをもつ子どもへの日本語教育支援」、山梨 YMCA リーダー会や中央大学・学 Y“ひつじくも”の「ごみ啓発活動」、熊本 YMCA リーダー会の「不登校の子どもたちの居場所作り」などの発表は、身近でかつ本質的な SDGs の課題にユースの皆さんが真剣に取り組んでいる様子をよく伝えて下さり、まことに印象的でありました。

特に、熊本 YMCA リーダー会が教育委員会を毎月のように訪問し、かつソーシャルワーカーとの連携を取りながら、不登校の子どもたちに「勉強会」や「夜ごはん会」などを定期的に提供し、かつ「やきいも作り」や「たこやき作り」などのイベントを開催して、「居場所作り」に取り組んでおられ、慎重に活動を推進している姿に頭の下がる思いがしました。

こうしたユースの皆さんの SDGs 活動等を発表する場と機会を設けること、そしてそれを真剣に聞くことが今ワイズに最も求められていることだと痛感しました。そこから、ユースとワイズの相互理解と協力関係が生まれるのだと思います。

第9回オープンフォーラム Y 感想

担当主事 大澤篤人

【基調報告・報告について】

大変素晴らしいものでした。基調報告も、ユースアクションの方々からの報告も、深く学べる機会となりました。ただ、私は個人的にすべての方からお話を伺ったことがありましたので、より理解を深めることができましたが、広く開かれたこの会に、初めて伺う話ばかりであった方がおられたら、まともなく聞こえてしまう気がしました。また、分団の時間がメインであったことを考えると、インプットの時間はもう少し短くても良かったと思います。

【広報について】

アプローチする対象に優先度をつけてもっと強力にアプローチした方がよかったと思います。「どなたでも！」とすると、行かなくてもいいか、と考えてしまうユースは多いと思いますので、「あなたにこそ来てほしいんです！」というアプローチの方が効果的、ということです。またそのために、話を聞いて分団する、という内容ではなく、目的や期待する成果、すなわち参加者にとっての魅力を具体的に伝えるべきだと思います。参加を期待するユースを具体的に想定すること、その方々が主語とな

る文章でアプローチし、自分事になってもらうために、どのような戦略を立てて広報するか、という側面で協議を深めていきたいと感じました。

【ハイブリッド開催について】

私が参加した報告までの間は、快適に参加できました。双方向のやり取りが可能かどうかはわかりませんが、今後もこの規模の講演会形式の会であれば、問題ないと感じました。

分団については参加できませんでした。申し訳ありません。

計画立案、チラシ作成、広報活動、報告者選定、依頼などなど、諸々のご準備、大変お疲れさまでした。

第9回オープンフォーラム・Yの振り返り

小口多津子(ユース主査)

今年は回数を重ねた検討の甲斐があって、内容は充実していて見事だったと思います。

スタートの山田拓路氏の基調講演は、お話の中身と語りで、最初からホールにとっても真剣な空気が伝わりました。特に、話の半ばからの「制度の壁」、後半の「心の壁」の話の印象が、この日ずっと私の中に沈着していました。そしてフォーラム最後のオール熊本 YMCA リーダー会の下田さんの話と、なぜか子供達の姿が背中合わせのように重なりました。

制度の壁と闘わなくてはならない親の元で生きていて、遊びも学びも不自由さを抱えた子供達がこの日本にいる、その一方で、不登校という問題の中にも、その心と丁寧につき合って下さる優しさに恵まれた子供達がいる。どちらも現状なのだからと受け止めながら、この二つの課題が、本当に多くのことを考えさせられて、これがフォーラムの重要な課題なことも感じました。

どの報告に対しても、最後の「質疑応答」の流れが、とてもスムーズでしたね。どの質問もまとを得ていて、その答えもしっかりした中身でした。また質問が出るまでの時間のロスもなくて、良かったと思いました。

中大「ひつじぐも」への質疑応答で、八王子クラブ会長花輪さんが、「この活動をしていて、あなたがたは我々ワイズに、なにをして欲しいですか」に対しての答えには、はっとさせられました。

応えは、「私達学生では、とても太刀打ちできないことがあります。行政との付き合いかた、頼み方です、これらにワイズの方の力を貸して欲しい」でした。これまでのユースアクションの報告会の中で、他のチームからもこういう要望は聞いていたでしょうか。思うと私達は彼らに、提供ばかりしていました。

「ワイズの力を借りたい」との要望、このことはとても印象に残りました。

衣笠さんの司会は素晴らしかったです。途中の時間にさり気なく加わった「サラマット A」のお二人、井上氏のお話も伺うことが出来、後半では遅くに出席の立教大学学 Y 生の紹介もできて、輪の中に入れられたことが良かったです。

渡邊さん、相磯さん IT の操作でリアルと ZOOM とのやり取りもスムーズでしたことも見事でした。今回のフォーラム全体は、この短い一日の中で、目的に合った、意見のまとまった感じを持ちました。

以上

第9回オープンフォーラム評価

2023年5月22日

北海道部ユース主査 宮崎善昭

お疲れさまでした。気づいたことを描きました。色々勉強させていただきました。感謝です。

- (1) 広報
 - ① 広報時期を早め余裕を持った呼びかけをする
 - ② 参加対象は Y's メンのほかYMCAスタッフ（特にユース担当者）、プログラムリーダーにも広く呼びかける。

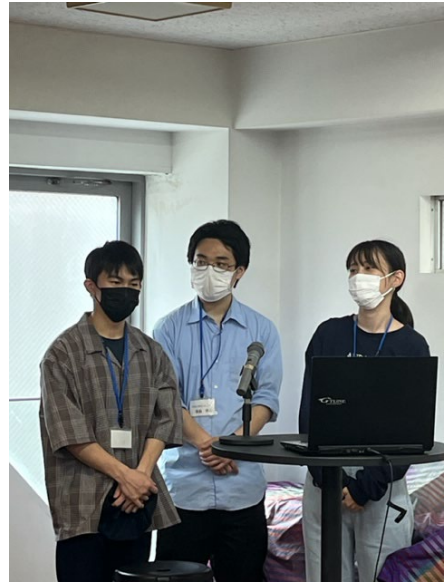
- (2) 参加者把握
 - ① 今後、参加形態は基本的に対面とし、ZOOM参加者も顔出しで参加する
 - ② 欠席の場合は連絡してもらう

- (3) 分団進行
 - ① テーマをいくつか絞る
 - ② ファシリテーターは事前打ち合わせをする。

以上

9. 第9回オープンフォーラムの様子（画像）





10.ユース事業委員会での「Y's×SDGs ユースアクションチーム」

報告編集動画 (Youtube リンク)

第7回 (1/27) ユース事業委員会

- ・山梨YMCA ユースリーダー会代表 菊池央人さん

環境 (ゴミ) 問題イベントの実施と啓発活動 (やまなしアクション 2022)

<https://youtu.be/SITQleLAibg>

- ・NPO法人メタノイア代表理事 山田拓路さん

外国にルーツをもつ子どもの権利・認知拡大 (世界につながる子どもと社会)

<https://youtu.be/zTQCxwwtwll>

第8回 (2/21) ユース事業委員会

- ・とちぎYMCA高校生ボランティアグループつぼみ 川口夏菜子さん

子どもの貧困：子ども食堂運営・学習支援活動 (NG 写真抜き)

<https://youtu.be/rZOZV-ZzGIM>

- ・中央大学YMCA国際ボランティアサークル「ひつじぐも」 関口遼さん

環境問題 (ゴミ) 啓発活動

<https://youtu.be/0FW0fRik1q8>

第9回 (3/20) ユース事業委員会

- ・「オール熊本YMCAリーダー会 下田大雅さん

子どもの居場所作り

<https://youtu.be/3u9aRLMn9jA>

- ・盛岡YMCAリーダー会子どもの人権チーム 小河原悠加さん

子どもの権利：川柳募集企画と社会発信

<https://youtu.be/X-Xv6XNWM4>

第10回 (4/17) ユース事業委員会

- ・SalamatA&Philippines Sky Light Project 井上仁さん

(フィリピンの子どもたちに絵本を届ける)

https://youtu.be/Cu_fh3PNp8o

11.会計

2022-2023 年度 Y I A 予算及び決算

2022-2023年度 Y I A 予算書

(YVLF予算決算書は別)

費目	予算	決算	備考
収入の部	435,000		
ユース活動支援金	395,000	233,750	予算：東日本区より 500円/人 ×790人
OFY参加費	40,000	0	2000円/人 ×20人
献金		4,100	OFYで参加ワイスからの献金
収入の部合計	435,000	237,850	
支出の部			
IYC参加者補助	120,000	120,000	予算：2名 2名以上の参加者の場合人数割
OFY 2023年5月 1日 場所未定 実行委員会開催場所代	150,000	43,203	決算：5人×24,000円/人=120,000円 予算：参加ユース20人
OFY 会場費他	20,000	0	
講師謝礼 20,000円	20,000	5,000	基調報告者：山田拓路さん
プレゼンター交通費 3,000円×3人	9,000	6,000	菊池央人さん：3,000円、大山希・森脇啓心さん・関口遠さんに各1,000円
食事代	30,000	12,150	500円×24個他
飲み物・お菓子	6,000	3,779	2,082+1,697=3,779
備品代	8,000	800	養生テープ・マジック
印刷代 (チラシ・ポスター・デザイン料含)	2,500	12,610	チラシ・ポスター印刷代、ポスターデザイン料 (含)
経費 (郵送料)	2,500	2,864	郵送料
東日本区大会ユース参加補助 登録費+交通費+昼食代	85,000	19,512	予算：3名 決算5名 (ユース3名、松本より留学生2名)
SDGsユースアクションフォロー	50,000	0	
その他 (予備)	30,000	0	
支出の部合計	435,000	182,715	